

平成28年度目録システム書誌作成研修 補講

NACISIS-CAT検討作業部会の 検討状況について

平成28年11月25日(金) 9:30~10:10

NACISIS-CAT検討作業部会

村上 遥 (東京外国語大学 総務企画部 学術情報課 目録係)

自己紹介

図書情報係

2007年



資料サービス係

2010年



目録係

2012年



目録システム書誌作成研修

2016年
ペルシア語
モンゴル語
ヒンディー語
...



現在

目録

サービス

目録

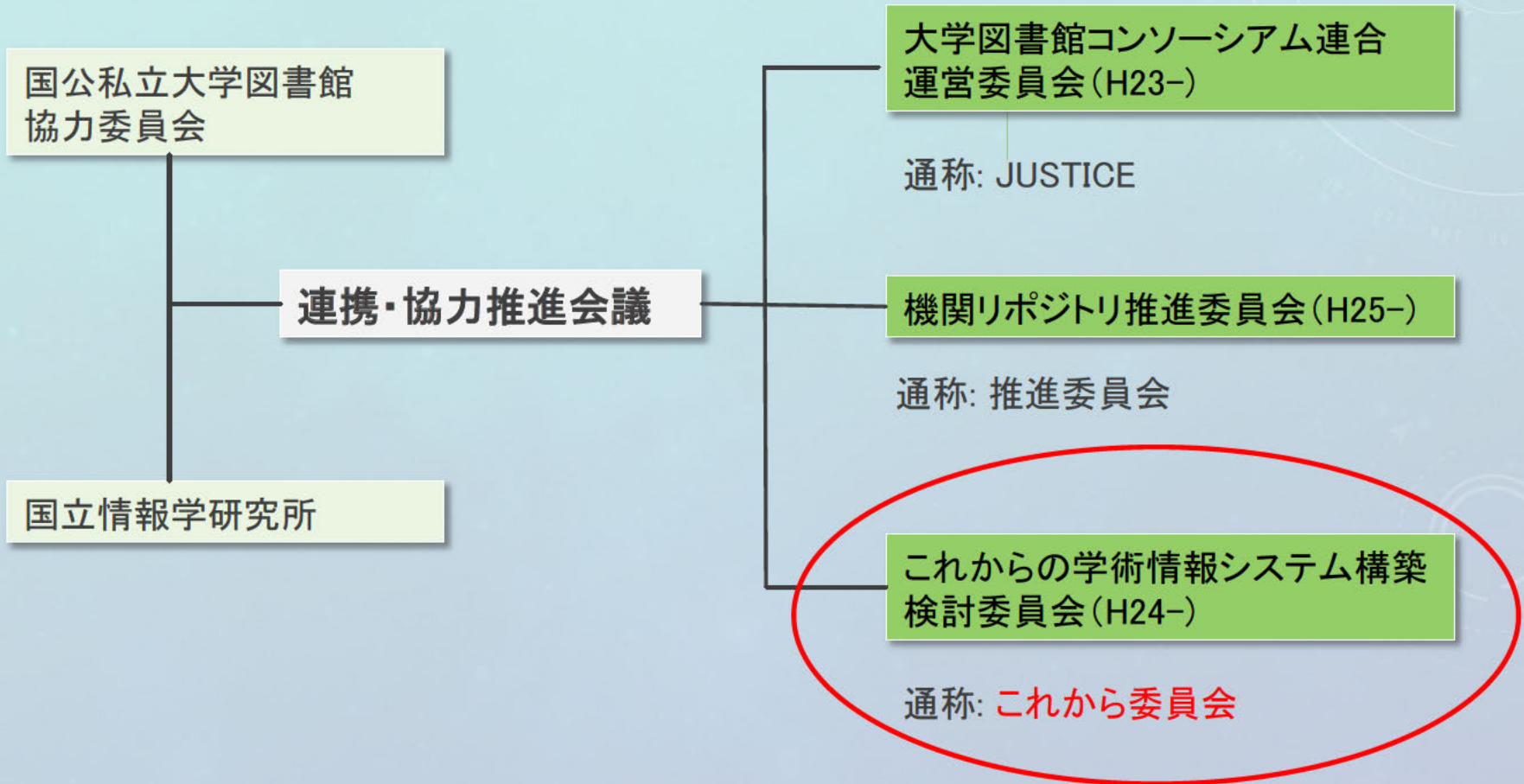
東京外国語大学附属図書館

蔵書冊数: 71万冊

言語数: 282

スタートから振り返る

■NACISIS-CAT検討作業部会の位置付け



平成27年5月29日 これからの学術情報システム構築検討委員会

これからの学術情報システムの在り方について「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下に設置された本委員会では、標記に係る状況を以下のように捉え、特に**NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化**を最重要課題として、国公私立大学図書館等が国立情報学研究所と連携して解決していくための方策を検討している。

1. 取り巻く環境の変化 学術審議会答申「今後における学術情報システムの在り方について」(1980年)を受け、1985年に総合目録データベースの形成と図書館間相互利用を目的とする「目録 所在情報サービス」の運用が開始されて以来、今日までに学術情報を取り巻く環境には様々な変化が起きている。特に、**電子ジャーナルをはじめとした電子情報資源**の普及によって、資料の流通・管理のあり方が大きく変貌したこと、また研究者、学生の情報利用や研究・教育のプロセスがますます電子的手段を前提とするものになっていることへの対応が急務となっている。NACSIS-CAT/ILLを中核とした**従来のシステムの軽量化・合理化を図りつつ**、そうした変化への対応を行えるシステムの整備を目指す必要がある。

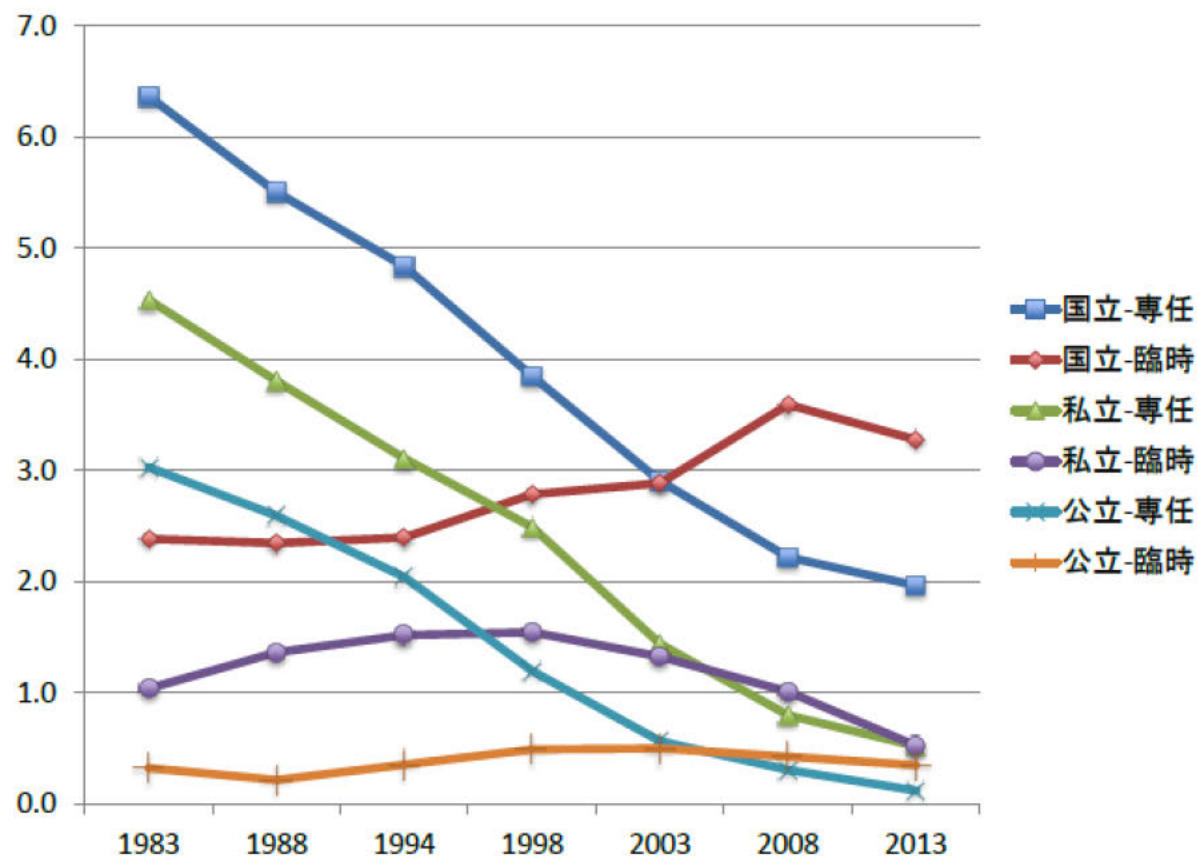
http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/korekara_doc20150529.pdf



赤字強調は講演者

- (1) 電子情報資源のデータの管理・共有 → 電子リソースデータ共有作業部会設置
- (2) **NACSIS-CAT/ILLの再構築(軽量化・合理化) → NACSIS-CAT検討作業部会設置(2015/7)**

大学図書館における目録担当者数の推移 (1大学あたりの平均人数)



NACISIS-CAT検討作業部会名簿

目録システム書誌作成研修

| | |
|--------|--|
| 佐藤 初美 | 筑波大学 学術情報部 アカデミックサポート課長 |
| 関戸 麻衣 | 東北大学附属図書館 情報管理課 図書情報係長 |
| 三角 太郎 | 千葉大学附属図書館 利用支援企画課 副課長 |
| 村上 遥 | 東京外国語大学 学術情報課 目録係 |
| 藤井 眞樹 | 一橋大学 学術・図書部 学術情報課 目録情報係長 |
| 大西 賢人 | 京都大学 学術支援課 電子リソース掛 |
| 河手 太士 | 天使大学 事務局 図書情報課 主幹 |
| 河野 江津子 | 慶應義塾大学 メディアセンター本部 (受入目録担当 課長) |
| 上村 順一 | 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 学術コンテンツ整備チーム係長 |
| 阪口 幸治 | 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 学術コンテンツ整備チーム係長 |
| 古橋 英枝 | 国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 学術コンテンツ整備チーム |

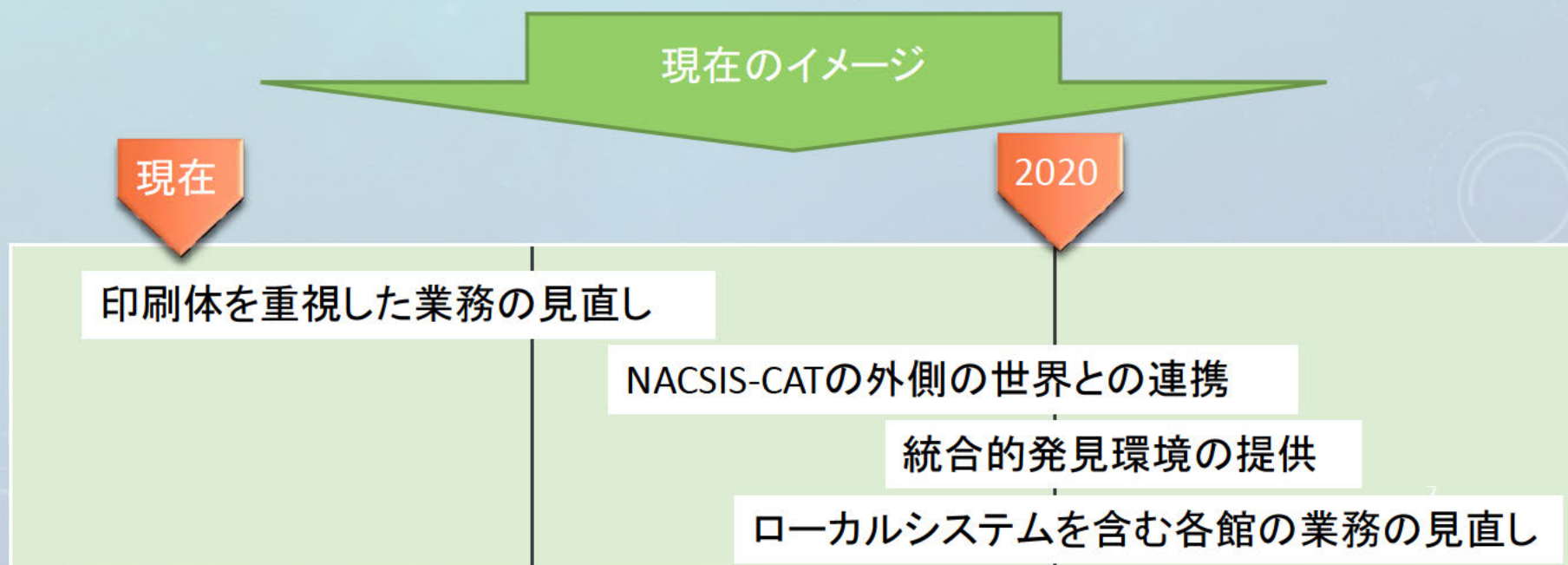
2014.7 連携・協力推進会議

—「目録所在情報サービスの将来計画の検討は、重要な課題」

—「検討を加速させるためにも2020年には現在のような枠組みでの目録システムは終了していることを想定して」「議論していただきたい」

→2014.10～ 「これから委員会」で検討開始

2015/11/12 図書館総合展 甲斐重武氏の発表資料より抜粋



この一年の動き

目録システム書誌作成研修

| 年月日 | 文書・イベント |
|------------|--|
| 2015/10/27 | NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(基本方針案の要点) |
| 2015/11/12 | 図書館総合展:2020年のNACSIS-CAT/ILLを考える |
| 2016/3/25 | NACSIS-CAT/ILLの再構築について(案) NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(基本方針)(案) |
| 2016/4 | 意見募集 |
| 2016/5/26 | NIIオープンフォーラム:2020年のNACSIS-CAT/ILL |
| 2016/10/16 | 全国図書館大会 |
| 2016/10/20 | NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(詳細案)(部分) |
| 2016/11/9 | 図書館総合展:NACSIS-CAT/ILLと電子リソース・2020年の学術情報システム |
| 2016/1/? | NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について(詳細案) |

| 年月日 | 開催状況 |
|------------|--------|
| 2015/8/4 | 第1回部会 |
| 2015/9/28 | 第2回部会 |
| 2015/12/16 | 第3回部会 |
| 2016/3/11 | 第4回部会 |
| 2016/5/20 | 第5回部会 |
| 2016/7/29 | 第6回部会 |
| 2016/9/7 | 第7回部会 |
| 2016/10/3 | 第8回部会 |
| 2016/10/26 | 第9回部会 |
| 2016/11/25 | 第10回部会 |
| 本日 | |
| 2016/12/15 | 第11回部会 |
| 予定 | |

書誌作成機能と
書誌利用機能の
分離

外部機関作成
データの活用

データの合理化

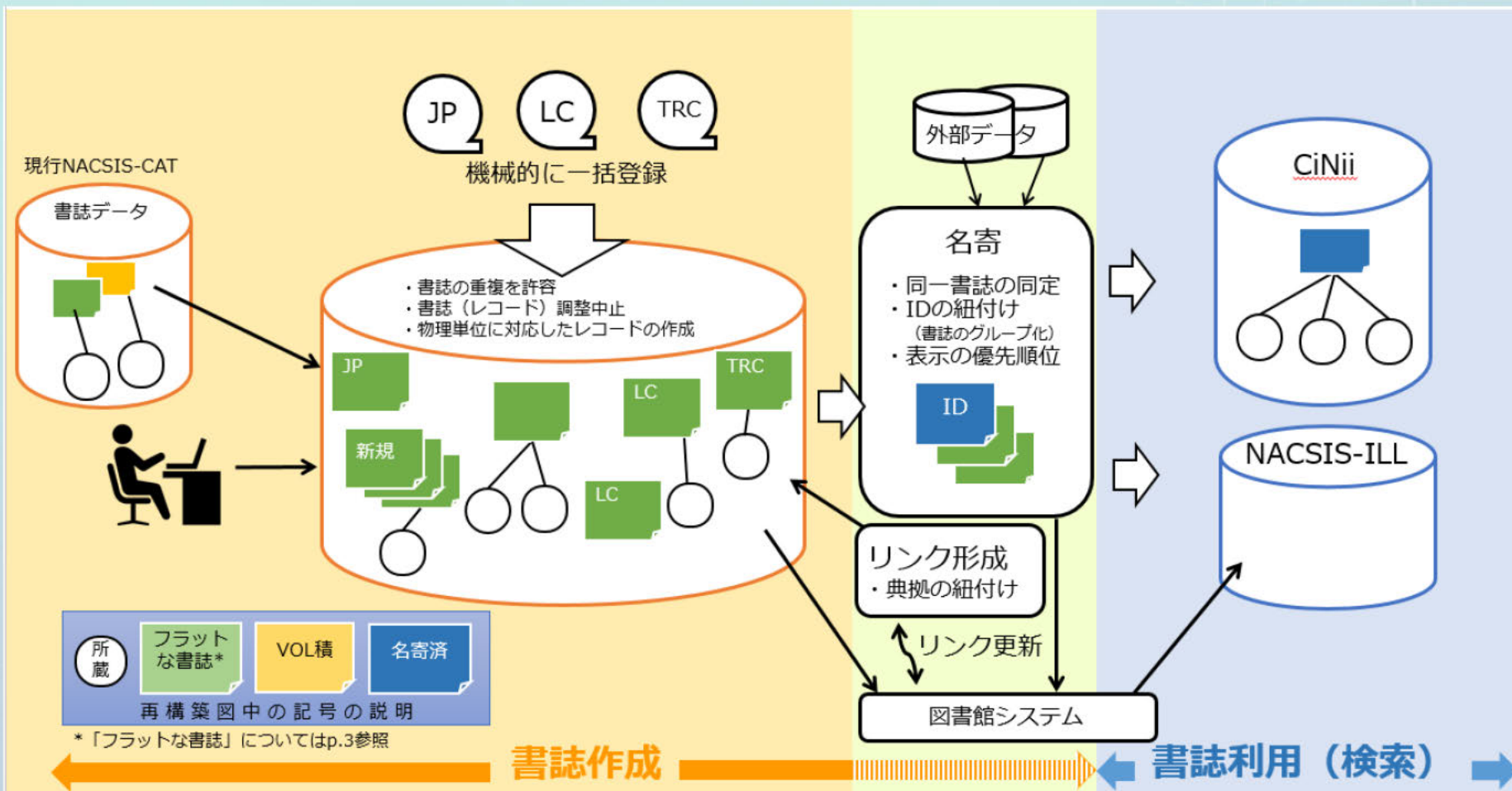
品質管理の
合理化

徹底したソフトランディング

次の段階への準備

基本方針概要

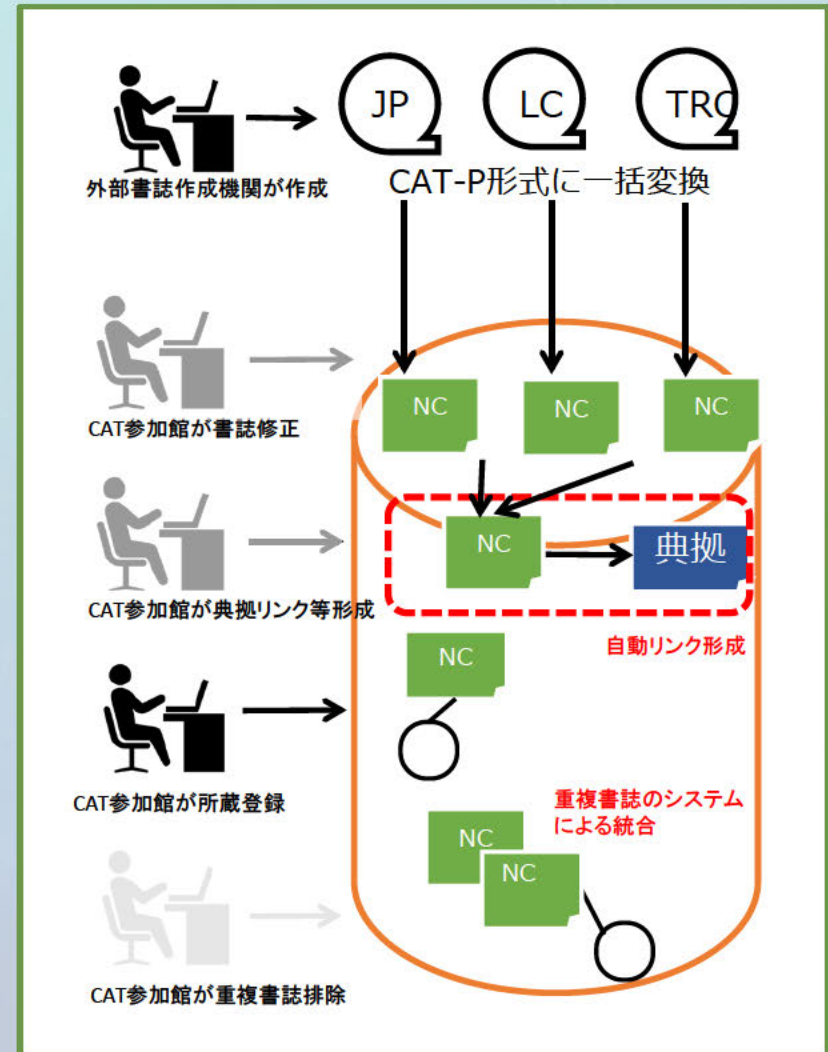
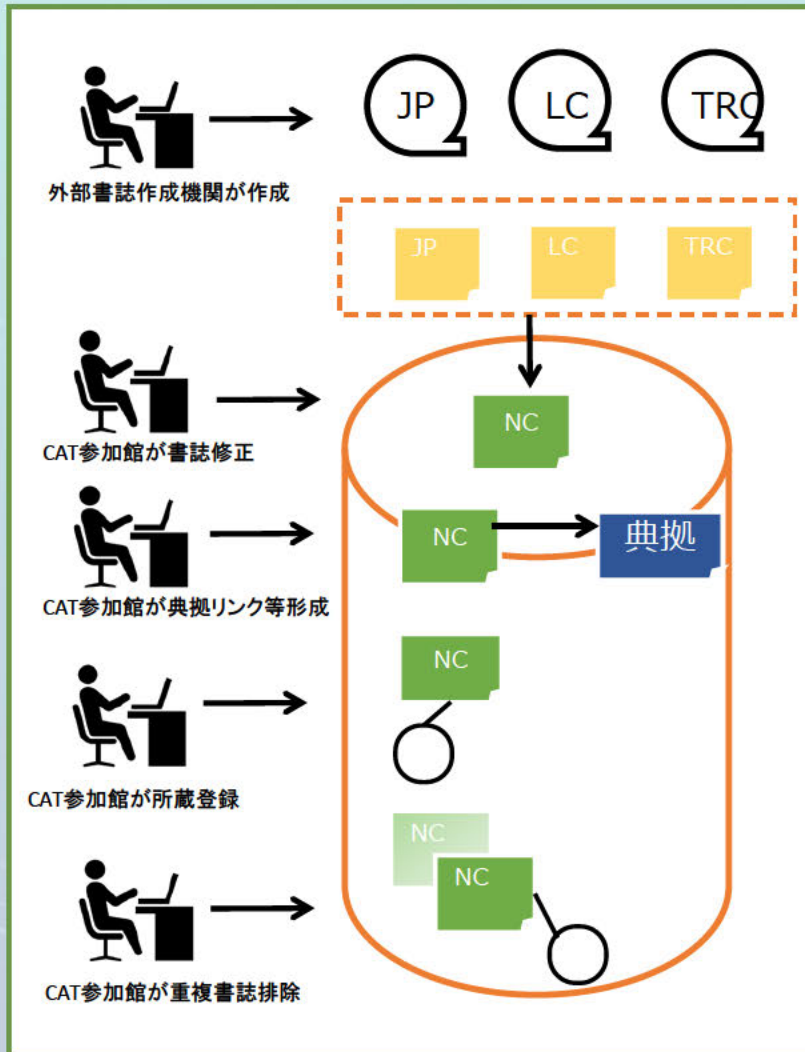
①書誌作成機能と書誌利用機能の分離



「NACSIS-CATの軽量化・合理化について(基本方針)」抜粋

人的作業の軽量化

②外部機関作成データの活用



人的作業の軽量化

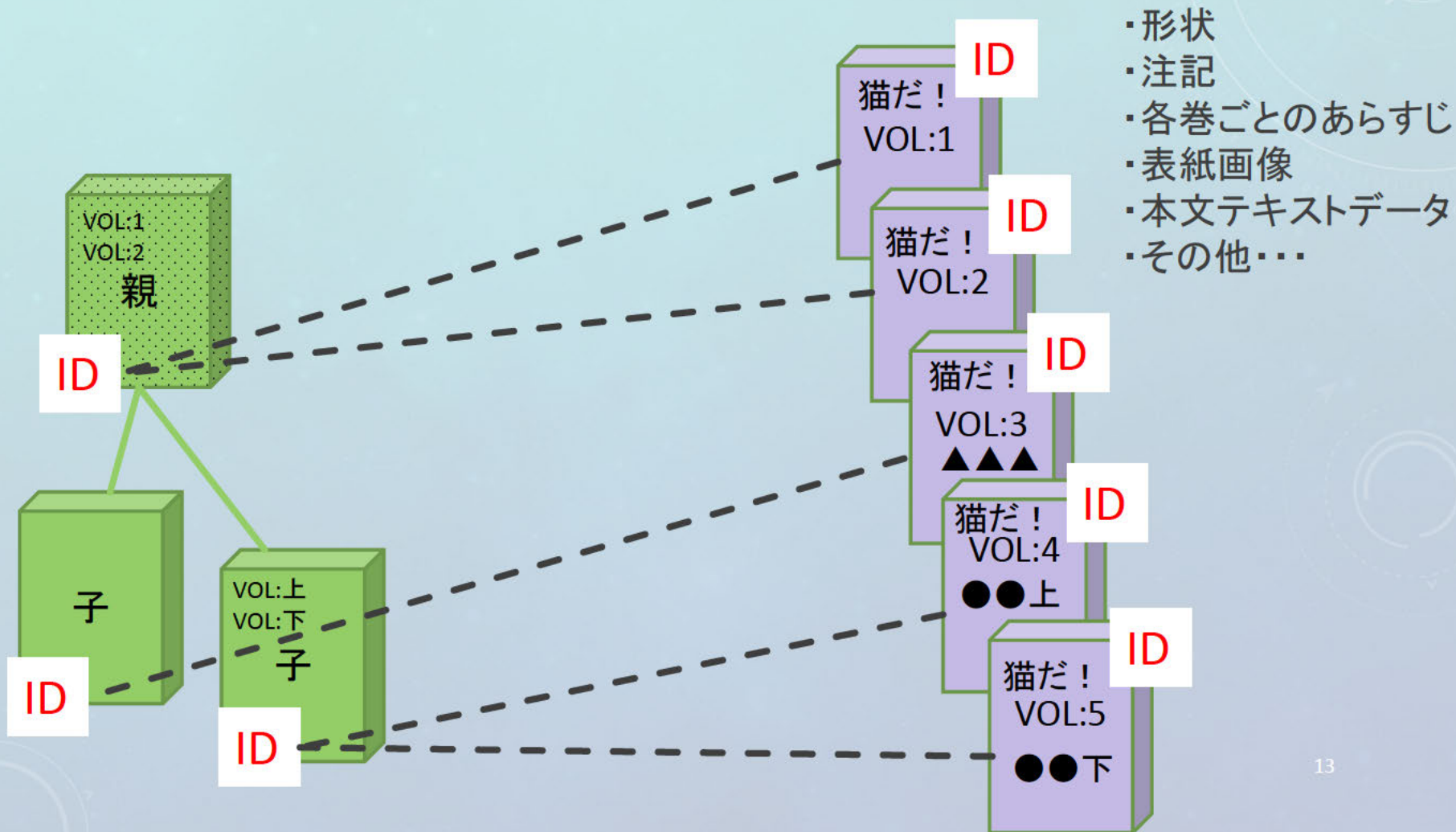
②外部機関作成データの活用

主な変更点

| 現在 | | 2020- | カテゴリー |
|--------|---|-------|-------|
| 参照MARC | → | 事前登録 | 作成 |
| リンク形成 | → | 機械化 | 作成 |
| 書誌調整 | → | 新規作成 | 管理 |
| 重複報告 | → | 機械化 | 管理 |

データの合理化

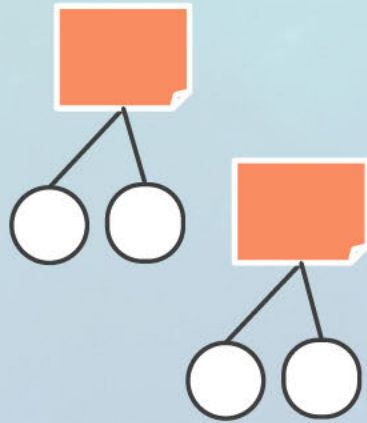
③「書誌のフラット化」が意図するもの



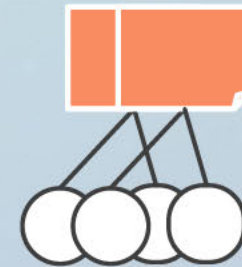
NAC SIS-ILLは？

NAC SIS-CATで作成したDBを使うが見え方は異なる

CAT



ILL



詳細案は？

- ・CAT2020のシステム要件 →ベンダーとの調整
- ・2020年までのロードマップ
- ・用語の定義
- ・図を併用してわかりやすく

2016.4に実施した「意見招請」への回答に相当する事項が含まれる

9. 今後も

| | |
|--------------------|--------------|
| NACSIS-CAT/ILLの在り方 | 大学図書館の業務の在り方 |
| 図書館システムの在り方 | 外部とのさらなる連携 |



HOME

事業について

ドキュメント

ツール

イベント情報

お問い合わせ

NACSIS-CAT News

NACSIS-CATニュース

一覧はこちら

- 2016/11/04
電気設備の法定点検に伴うサービス停止のお知らせ(2016/12/2-2016/12/5)
- 2016/10/19
< 障害情報 > 参照MARC(KERISB・KERISX・KERISS)の障害(2016.10.19)の復旧について
- 2016/10/19
< 障害情報 > 参照MARC(KERISB・KERISX・KERISS)の障害(2016.10.19)について

NACSIS-ILL News

NACSIS-ILLニュース

一覧はこちら

- 2016/11/04
電気設備の法定点検に伴うサービス停止のお知らせ(2016/12/2-2016/12/5)
- 2016/11/01
< 相殺 > 10月分ダウンロード用データを公開しました
- 2016/10/04
< 相殺 > 第2四半期の料金相殺結果通知書を送付しました

Tools ツール

一覧はこちら

Q&A DE検索

目録情報等に関する質問の検索・投稿ができます。重複・修正報告もこちらから。

参加組織検索(現在ご利用いただけません)
NACSIS-CAT/ILL全参加館の参加組織情報が検索できます。

NACSIS-CAT系ツール

「レコード調整連絡ツール」「年号/西暦変換」など、NACSIS-CAT関連のツールはこちら。

NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材

NACSIS-CAT/ILLを、ウェブ上で学ぶことのできる教材です。

About Us 事業について

詳細はこちら



目録所在情報サービスは、参加する図書館が所蔵する資料の書誌情報と所在情報をオンラインでデータベース化し、所在情報データベースを利用して、それぞれの図書館が自館で所蔵していない資料を相互に提供する「図書館間相互協力」を迅速に実施しています。

- NACSIS-CAT開館情報
- エンテックスサービス運用状況
- CAT/ILLサービス提供時間
- NACSIS-ILL開館情報
- CAT/ILLサービス運用状況



Contact お問い合わせ

詳細はこちら

目録所在情報サービスに関するご質問、ご意見はこちらまで。



Documents ドキュメント

一覧はこちら

運用ガイドライン

NACSIS-CAT系マニュアル
「目録情報の基準」「コーディングマニュアル」等、NACSIS-CAT関係のマニュアルはこちら。

NACSIS-ILL系マニュアル
「ILLシステム操作マニュアル」等、NACSIS-ILL関連のマニュアルはこちら。

これからの学術情報システム
構築検討委員会

これからの学術情報システム構築検討委員会は、国立情報学研究所との協定書に則り設けられた「連携・協力推進会議」の下に設置され、NACSIS-CAT/ILLを含む、学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を推進することを目的としています。

ERDB
(電子リソース管理データベース)

ERDBとは、電子リソース(電子ジャーナル等)に関するデータ共有のための基盤で、紙媒体を中心とした従来の総合目録データベースと併せて、電子媒体および紙媒体の学術情報への迅速かつ確かなナビゲートを実現し、利用者の学術情報のアクセシビリティを向上させることを目的として構築されました。

検討状況は
<http://www.nii.ac.jp/content/korekara/>をご覧ください。